

事業計画書 (全体)

30年度

団体名：NPO法人榎本地域活動協議会

事業名	実施日・期間	対象者 参加予定人数 スタッフ人数	従事予定時間	実施内容	事業目的	分野
乳幼児子育て支援まつり (スモチル)			別紙「事業計画書」の通り			子ども・青少年・健康
はなてん音楽サロン			別紙「事業計画書」の通り			文化・スポーツ
えのもと寺子屋			別紙「事業計画書」の通り			子ども・青少年
ふれあいまつり			別紙「事業計画書」の通り			その他
榎本盆踊り大会・納涼縁日			別紙「事業計画書」の通り			文化・スポーツ
区民まつり			別紙「事業計画書」の通り			文化・スポーツ
榎本大運動会			別紙「事業計画書」の通り			文化・スポーツ
ふれあい餅つき大会			別紙「事業計画書」の通り			子ども・青少年
地域子ども育成事業			別紙「事業計画書」の通り			子ども・青少年
まちなか防災・避難所 開設訓練			別紙「事業計画書」の通り			防災・防犯
青色防犯パトロール			別紙「事業計画書」の通り			防災・防犯
安心安全防犯活動			別紙「事業計画書」の通り			防災・防犯

※地域活動協議会行う事業をすべて記載してください。

※分野は該当するものをすべて記載してください。

※様式第1号-別紙1-②(事業計画書)を提出する事業については、事業名・分野以外は別紙参照とし、詳細の記入は省略していただいてもかまいません。

事業計画書 (全体)

団体名：NPO法人榎本地域活動協議会

30年度

事業名	実施日・期間	対象者 参加予定人数 スタッフ人数	従事予定時間	実施内容	事業目的	分野
榎本児童見守り活動				別紙「事業計画書」の通り		防災・防犯
児童公園管理				別紙「事業計画書」の通り		環境
街路灯 LED化				別紙「事業計画書」の通り		防災・防犯
広報 (榎本ふれあい通信・ホームページ)				別紙「事業計画書」の通り		広報
放置自転車対策委員会	通年 毎月1回	対象者：放出駅周辺の 通行人と自転車利用者 スタッフ：延べ300人		約1時間のチラシ配布、口頭 での呼びかけ、放置自転車 へのエア付け、点字ブロッ ク上自転車の撤去	駅前周辺の放置自転車をなくし、 自転車マナーの啓発を行う	環境
かたづけ・たい	通年 毎月第1日曜日	対象者：地域住民 スタッフ：延べ360人		歩道・電柱等の違法広告物 の撤去、清掃を行う。放置 自転車へのエア付けなども 行う。	違法広告物の撤去、清掃を行い、 町の美化活動を地域住民の自主的 な活動で実現する。	環境
コミュニティ回収事業	通年 毎月第 1,3木曜日	対象者：地域住民 スタッフ：20人		毎月第1,3木曜日、古紙・衣 類の資源ごみ回収を行う。	住民のごみの分別への意識向上と 売却益を地域還元する仕組みを定 着させ、地域住民全体で環境問題 に取り組む。	環境

※地域活動協議会行う事業をすべて記載してください。

※分野は該当するものをすべて記載してください。

※様式第1号—別紙1—② (事業計画書) を提出する事業については、事業名・分野以外は別紙参照とし、詳細の記入は省略していただいてもかまいません。

事業計画書 (全体)

30年度

団体名：NPO法人榎本地域活動協議会

事業名	実施日・期間	対象者 参加予定人数 スタッフ人数	従事予定時間	実施内容	専門目的	分野
映画上映会	30年7月～8月	対象者：地域住民 スタッフ：50人		盆踊り納涼大会の準備期間中にその会場を利用し、子ども向けの映画の上映を行う。	子育て世帯の地域デビューのきっかけ作り。	文化・スポーツ
小規模多機能型居宅介護事業 (みつるぎの里)	通年	対象者：地域住民 スタッフ：15人		小規模多機能型居宅介護事業を行う。	小規模多機能型居宅介護事業により、地域で認知症患者や高齢者を支える仕組みを実現させる。	その他
学校体育施設開放事業	通年	対象者：地域住民 参加人数：20人/回 スタッフ：20人		市立小中学校の運動場などの体育施設を学校教育の支障のない範囲で開放する。	地域住民の健康・体力の維持増進、生涯スポーツの振興、生活の質の向上に寄与する。	
生涯学習ルーム事業	通年	対象者：地域住民 参加人数：100人 スタッフ：50人		各種講座の企画・運営・自主講座・地域連携講座	地域における学習活動の振興及び学びを通じた地域住民間の交流促進によるコミュニティづくりへの寄与	
児童いきいき放課後事業	通年	対象者：榎本・今津・茨田北・茨田南・茨田小学校登録児童 参加者：2,200人 スタッフ：90人		授業期間は、祝祭日と日曜を除く授業終了後18時まで、長期休業時は8時15分～18時まで、教室の管理・運営	放課後及び長期休業期間中の子どもの安全な居場所の提供と学習・遊びの見守り	
地域福祉活動	通年	対象者：地域住民 スタッフ：200人		高齢者食事サービス・ふれあい喫茶、うたひひろば、子育てサロン、ネットワーカー委員会活動、要援護者見守り・相談、有償ボランティア、男の台所、思い出サロン、カーリコン、夢舞隊、絵手紙、手芸サークル、福祉機器展	地域福祉活動の推進。世代間交流の促進。孤独死の減少。	

※地域活動協議会行う事業をすべて記載してください。

※分野は該当するものをすべて記載してください。

※様式第1号一別紙1-②(事業計画書)を提出する事業については、事業名・分野以外は別紙参照とし、詳細の記入は省略していただいてもかまいません。

事業計画書

30年度

NPO 法人榎本地域活動協議会

補助事業名	乳幼児子育て支援まつり (スモチル)	分野	子ども・青少年・健康
事業概要	<p>① 実施日時又は期間 平成30年12月</p> <p>② 実施場所又は地域 榎本福祉会館</p> <p>③ 対象者、参加予定人数、スタッフ人数 乳幼児と保護者：200人 スタッフ人数：20人</p> <p>④ 従事予定時間 10名×2日×2時間（会議・打ち合わせ） 20名×1日×6時間（当日）</p> <p>⑤ 実施内容・方法 乳幼児をターゲットに、会場内でおもちゃ手作り工作、紙芝居、絵本読み聞かせ、食育の啓発（離乳食）、うたひろば等の乳幼児向けに特化したお楽しみブース開催、保護者の交流場所の提供</p> <p>⑥ 広報の内容と方法 ポスター、回覧板、チラシ、ホームページ等で地域全体に案内</p> <p>⑦ 他団体（地活協以外の団体）との連携 ヘルスメイト、子ども子育てプラザ、鶴見区役所（保健師）、鶴見区社協等</p>		
事業目的及び期待できる効果	<p>乳幼児と保護者の地域交流 お母さんお父さんの地域デビューを促進する。子育て中の保護者と乳幼児が楽しめるプログラム、食育を中心に構成するおまつりを通して、地域の包括的な子育て支援を実感してもらう。地域が子育てに強い関心を持っていることを、子育て世帯にアピールできる。</p>		
事業効果の検証方法	<p>参加者へのアンケート及びスタッフ聞き取りにより検証する。</p>		

事業計画書

30年度

NPO 法人榎本地域活動協議会

補助事業名	はなてん音楽サロン	分野	文化・スポーツ
事業概要	<p>① 実施日時又は期間 年間を通して、年6回程度開催</p> <p>② 実施場所又は地域 榎本福社会館を中心に地域内の事業所、集会場等 (ゴールデンパレス大阪、正因寺)</p> <p>③ 対象者、参加予定人数、スタッフ人数 榎本校区全住民を中心に誰でも参加できることを常に呼びかける。 毎回60～90名程度 年間延べ500名参加 スタッフ人数：15人/回</p> <p>④ 従事予定時間 15名×12回(年間)×2時間(会議) 15名×6回(年間)×5時間(コンサート)</p> <p>⑤ 実施内容・方法 音楽コンサート6回(クラシック3回、ジャズ2回、フォークポップス1回) 実行委員会を毎月第2火曜日定例に開催、前回のまとめと次回の企画を立て出演交渉、会場手配等を行い、参加を呼び掛ける。 費用は、入場無料でチップ制を基本とする。</p> <p>⑥ 広報の内容と方法 ポスター、回覧板、チラシとホームページ、SNSによる広報、お知らせ希望の参加者にメールを配信する。</p> <p>⑦ 他団体(地活協以外の団体)との連携 汎愛高校、鶴見商業高校、今津中学、ゴールデンパレス大阪、正因寺</p>		
事業目的及び期待できる効果	<p>地域に「花と音楽のあるまち」を根付かせ、豊かな地域まちづくりを行う。地域内の音楽家、芸術家を掘り起こし、自分の住んでいる街で音楽活動を展開して頂く。参加型のアマチュア音楽家の企画と専門性の高い芸術に触れ合う機会を組み合わせ、いろいろな音楽ジャンル、広い世代を繋ぐ場として展開していく。文化・芸術が地域・生活空間に根付き、身近に感じることができる。</p>		
事業効果の検証方法	<p>毎回参加者からアンケートを募り、集約する。 参加者数やチップ金額の増減など次回の取り組みのため、毎月の実行委員会で検証する。</p>		

事業計画書

30年度

NPO 法人榎本地域活動協議会

補助事業名	えのもと寺子屋	分野	子ども・青少年
事業概要	<p>① 実施日時又は期間 30年4月～31年3月（毎週 月・木曜日）</p> <p>② 実施場所又は地域 栄町フリースペース</p> <p>③ 対象者、参加予定人数、スタッフ人数 榎本小学校児童 参加予定人数：5人/回 スタッフ人数：2人/回</p> <p>④ 従事予定時間 5人×2日×4週間×12ヶ月×3時間</p> <p>⑤ 実施内容・方法 大学生のボランティアを募り、放課後小学生の宿題の指導を行う。また、知育玩具やオリジナルの教材を用いて子どもの思考力を高める。費用は、保護者にお助け愛チケットを購入してもらい、1週間（月・木曜日の二日）2枚で参加とする。</p> <p>⑥ 広報の内容と方法 ポスター、回覧板、チラシ、ホームページ等で地域全体に告知</p> <p>⑦ 他団体（地活協以外の団体）との連携 道草寺子屋</p>		
事業目的及び期待できる効果	<p>地域に子どもの居場所を作り、子育ての役割を地域全体で担う。大学生のボランティアスタッフが指導することによって、親でも教師でもない第三者と子どもの新しい関係「ナナメの関係」をつくる。子どもとその両親が地域活動を身近に感じ、地域の子育て世帯への支援をアピールできる。</p>		
事業効果の検証方法	<p>子どもとその両親へヒアリングを行う。</p>		

事業計画書

30年度

NPO 法人榎本地域活動協議会

補助事業名	ふれあいまつり	分野	その他
事業概要	<p>① 実施日時又は期間 平成30年5月27日(予定)</p> <p>② 実施場所又は地域 榎本福祉会館、駐車場、道路、榎本南公園、南部包括支援センター</p> <p>③ 対象者、参加予定人数、スタッフ人数 対象者:地域住民、参加予定人数 1,000人 スタッフ人数:190人</p> <p>④ 従事予定時間 40名×4回×2時間(会議) 190名×1日×7時間(当日)</p> <p>⑤ 実施内容・方法 各団体による模擬店、バザー等 音楽演奏、ダンス</p> <p>⑥ 広報の内容と方法 ポスター、回覧板、チラシ、ホームページ等で地域全体に告知</p> <p>⑦ 他団体(地活協以外の団体)との連携 南部包括支援センター、汎愛高校、鶴見商業高校、今津中学校、子ども子育てプラザ、ライトハウス、雅っ鼓、コーセツ放出、京阪互助センター、大阪パルコープ、鶴見区音楽団、ニューオーリンズレッドビーンズ、三菱東京UFJ銀行放出支店 他</p>		
事業目的及び期待できる効果	<p>地域活動協議会の各構成団体の取組みを相互にアピール。 地域住民の親睦を深めるとともに地域コミュニティの活性化を図る。 地域住民に地域活動を紹介し、事業の理解と共感を目指す。</p>		
事業効果の検証方法	<p>:参加者へ無記名の投票を実施。(三択)</p> <p>① 地域活動が理解できた。② どちらでもない。③ 理解できない。</p>		

事業計画書

30年度

NPO 法人榎本地域活動協議会

補助事業名	榎本盆踊り大会・納涼縁日	分野	文化・スポーツ
事業概要	<p>① 実施日時又は期間 平成30年8月4日、5日(予定)</p> <p>② 実施場所又は地域 榎本小学校校庭</p> <p>③ 対象者、参加予定人数、スタッフ人数 対象者:地域住民、参加予定人数 1,000人×2日 スタッフ人数:200人</p> <p>④ 従事予定時間 50名×5回×2時間(会議) 50名×2日間×5時間(設営・清掃) 200名×2日間×8時間(当日)</p> <p>⑤ 実施内容・方法 盆踊り、各種団体による模擬店、花火</p> <p>⑥ 広報の内容と方法 ポスター、回覧板、チラシ、ホームページ等で地域全体に告知</p> <p>⑦ 他の団体(地活協以外の団体)との連携 鶴見商業高校、雅っ鼓、鶴見区音楽団 他</p>		
事業目的及び期待できる効果	<p>盆踊りを通じて地域住民の親睦と交流を図る。 豊かな住みよい地域コミュニティづくりを目指す。</p>		
事業効果の検証方法	<p>スタッフ(担い手)から参加者に聞き取り調査を行い、事業の検証を行う。</p> <ul style="list-style-type: none">・開催日時、日数(参加しやすい曜日を調査)・どのようなグループで参加されたか、担い手への参加希望とかの聞き取り・家族以外の人と話したか、聞き取り		

事業計画書

30年度

NPO 法人榎本地域活動協議会

補助事業名	区民まつり	分野	文化・スポーツ
事業概要	<p>① 実施日時又は期間 平成30年9月</p> <p>② 実施場所又は地域 鶴見緑地公園</p> <p>③ 対象者、参加予定人数、スタッフ人数 対象者：鶴見区民 スタッフ人数：100人</p> <p>④ 従事予定時間 50人×5日×2時間（会議）、10人×5日×3時間（山車作成）、10人×1日×2時間（前日準備）、100人×1日×6時間（当日）</p> <p>⑤ 実施内容・方法 おでん・枝豆・おにぎり等の販売、かき氷販売、ジュース・ビール販売。山車を作製し、地域の子どもに参加を募り、大人と共にパレードに参加。</p> <p>⑥ 広報の内容と方法 ホームページなどで取り組みを紹介する。 山車作成の過程等をFB等で紹介、山車を担ぐ子どもを集める。</p> <p>⑦ 他団体（地活協以外の団体）との連携 榎本小学校</p>		
事業目的及び期待できる効果	<p>地域のコミュニティ作り、繋がりの強化を図る。</p> <p>いきいき教室の子どもたちと指導者が力を合わせて山車を作製する事で子どもたちが地域活動の一員としての役割を担う。</p> <p>日常的なコミュニケーションの高まり。</p> <p>子どもたちが地域活動の担い手となる。</p>		
事業効果の検証方法	<p>子どもたち、参加者(担い手)に聞き取り調査を行い、他の活動にも参加してみたいか等、地域活動への参加の意思や意見を求める。</p>		

事業計画書

30年度

NPO 法人榎本地域活動協議会

補助事業名	榎本大運動会	分野	文化・スポーツ
事業概要	<p>① 実施日時又は期間 平成30年10月</p> <p>② 実施場所又は地域 榎本小学校</p> <p>③ 対象者、参加予定人数、スタッフ人数 対象者:地域住民、参加予定人数 1,200人 スタッフ人数:200人</p> <p>④ 従事予定時間 50名×5回×2時間(会議) 50名×2日×5時間(設営・機材点検) 200名×1日間×8時間(当日)</p> <p>⑤ 実施内容・方法 個人走、玉入れ、ジャンケン大会、綱引き、風船割り、サッカーPK等</p> <p>⑥ 広報の内容と方法 ポスター、回覧板、チラシ、ホームページ等で地域全体に告知</p> <p>⑦ 他団体(地活協以外の団体)との連携 今津中学校吹奏楽部</p>		
事業目的及び期待できる効果	<p>運動会を通じて地域住民の親睦と交流を図り、地域住民の団結力を高め、より豊かな住みよい地域コミュニティづくりを目指す。</p> <p>地域住民に地域活動の機会を提供することで、幅広い住民の地域活動への参加を促すとともに、ご近所付き合いの深まりを図る。</p> <p>事業の開催により地域住民が参加者として触れ合う中で日常生活においても助け合いの心が生まれる。</p>		
事業効果の検証方法	<p>各町会の参加人数を把握する。</p> <p>新しく参加された方の感想を聞く。</p>		

事業計画書

30年度

NPO 法人榎本地域活動協議会

補助事業名	ふれあい餅つき大会	分野	子ども・青少年
事業概要	<p>① 実施日時又は期間 平成30年12月29日(土)予定</p> <p>② 実施場所又は地域 榎本福祉会館</p> <p>③ 対象者、参加予定人数、スタッフ人数 対象 地域住民 約300人 スタッフ人数：50人</p> <p>④ 従事予定時間 10名×2回×2時間(会議) 50名×1日×6時間(当日)</p> <p>⑤ 実施内容・方法 榎本小学校児童、特に楽生会(老人会)に呼びかけ世代を繋ぐ行事として定着化させる。</p> <p>⑥ 広報の内容と方法 ポスター、回覧板、チラシ、ホームページ等で地域全体に告知。</p> <p>⑦ 他団体(地活協以外の団体)との連携 大阪パルコープ</p>		
事業目的及び期待できる効果	<p>お餅つきを体験することで、地域コミュニティの活性化を図り、地域の歳時記とし、高齢者の生活の知恵を子どもたちに伝承する機会とする。 高齢者と子どもたちが共同作業でお餅を作ることにより、世代間のつながりを深めて地域コミュニティの活性化が図れる。</p>		
事業効果の検証方法	<p>参加者の感想をアンケート形式で確認して次回に生かす。</p>		

事業計画書

30年度

NPO 法人榎本地域活動協議会

補助事業名	はぐくみ地域子ども育成事業	分野	子ども・青少年
事業概要	<p>① 実施日時又は期間 平成30年4月～平成31年3月</p> <p>② 実施場所又は地域 榎本地域</p> <p>③ 対象者、参加予定人数、スタッフ人数 対象者：地域住民 スタッフ人数：20人 参加者800名</p> <p>④ 従事予定時間 凧作り 10人×2時間、ラジオ体操 5人×4カ所×2時間 菜の花カーにぼる 当日20人×7時間、練習3人×4日×1時間</p> <p>⑤ 実施内容・方法 凧づくり教室 夏季ラジオ体操 ソフトボール・キックベースボール活動等 はぐくみ菜の花カーにぼる</p> <p>⑥ 広報の内容と方法 広報紙、ホームページなどで取り組みを紹介する。 ブログによる事業予告・報告を行う。</p> <p>⑦ 他団体（地活協以外の団体）との連携 榎本小学校・今津中学校</p>		
事業目的及び期待できる効果	<p>保護者以外の大人の参加によって地域ぐるみで子育てを行う意識が芽生える。</p> <p>若い世代の地域行事への参加により、より参画しやすい地域活動を目指す。</p> <p>地域と子どもを繋ぐ架け橋となる。</p> <p>子どもたちが地域の大人たちの教えを受けながら、幼児の年代から地域の活動に参加していることが自然な環境づくりが図れる。子どもたちを地域が応援していることが実証できる。</p>		
事業効果の検証方法	<p>参加者に聞き取りを行い、次に期待する意見を把握する。</p>		

30 年度

NPO 法人榎本地域活動協議会

補助事業名	まちなか防災・避難所開設訓練	分野	防災・防犯
事業概要	<p>① 実施日時又は期間 平成 30 年 8 月～平成 31 年 2 月</p> <p>②実施場所又は地域 榎本全地域及び榎本小学校、榎本福祉会館</p> <p>③対象者、参加予定人数、スタッフ人数 対象者:地域住民、参加予定人数 訓練 1200 人、着衣泳 50 人 講演会 70 名 スタッフ人数:200 人</p> <p>④ 従事予定時間 水難救助:50 人×1 日×4 時間、夜間訓練及び準備:20 人×1 日×6 時間 防災訓練当日:100 人×1 日×7 時間、防災講演会:5 人×1 日×2 時間、その他会議:100 人×5 日×2 時間</p> <p>⑤実施内容・方法 災害に備えて全住民を対象に防災訓練を実施する(1 回) 防災講演会を実施する(1 回) 着衣泳訓練 (1 回)</p> <p>⑥ 広報の内容と方法 ポスター、回覧板、チラシ、ホームページ等で地域全体に案内</p> <p>⑦ 他の団体(地活協以外の団体)との連携 汎愛高校、南部包括支援センター、地域内企業福祉事業所</p>		
事業目的及び期待できる効果	<p>大規模災害に備え地域住民で防災意識を共有し、災害が起きてもあわてず行動できるよう、日頃から地域住民で点検・確認することにより、安全で安心なまちづくりを目指す。避難所開設訓練によって自主防災組織の育成を図っていく。障がい者、旅行者、外国人等への対応も出来るようにする。 防災意識の向上</p>		
事業効果の検証方法	<p>訓練参加数 1,200 人を目標とし、参加者アンケート実施によって防災意識が高まったとする人、我が家の防災を見直そうと思った人 70% 以上を目指す</p>		

事業計画書

30 年度

NPO 法人榎本地域活動協議会

補助事業名	青色防犯パトロール	分野	防災・防犯
事業概要	<p>① 実施日時又は期間 年間全期間（月～土）一日 2～3 コマ</p> <p>② 実施場所又は地域 榎本地域全域</p> <p>③ 対象者、参加予定人数、スタッフ人数 対象 榎本全地域住民 スタッフ人数：青色防犯パトロール隊員 90 人</p> <p>④ 従事予定時間 1 回 2 人×800 回×1 時間</p> <p>⑤ 実施内容・方法 榎本小学校児童の登下校時、夕方及び夜間に青色防犯パトロールカーによるパトロールを行う。大阪府警の安まちメールを活用、随時出動を行う。青色防犯パトロール車によるアナウンス活動</p> <p>⑥ 広報の内容と方法 広報紙、ホームページ等で地域全体に案内</p> <p>⑦ 他団体（地活協以外の団体）との連携 榎本小学校・鶴見警察署</p>		
事業目的及び期待できる効果	<p>ひったくり等の犯罪抑止や交通事故の防止を地域住民自らの力で実現する。町会長、防犯委員、青少年福祉委員、青少年指導委員などを中心に青色防犯パトロール隊員の日常活動の中で地域の結束力を高める。</p> <p>街頭犯罪の減少、青少年の問題行動の抑止、地域住民の関心の高まり。</p>		
事業効果の検証方法	<p>鶴見警察署による犯罪事故発生件数発表等で検証</p> <p>青色防犯パトロール隊員の活動日誌や気づき欄、その集約で検証</p>		

事業計画書

30年度

NPO 法人榎本地域活動協議会

補助事業名	安心安全防犯活動	分野	防災・防犯
事業概要	<p>① 実施日時又は期間 年間全期間（イベント年間約10回、その他適時）</p> <p>② 実施場所又は地域 榎本小学校下を中心にした地域</p> <p>③ 対象者、参加予定人数、スタッフ人数 対象 一般地域住民 スタッフ人数：70人（年間延べ 約600人）</p> <p>④ 従事予定時間 30人×1日×12ヶ月×1時間</p> <p>⑤ 実施内容・方法 行事ごとに周辺道路の交通安全対策を展開する。 夏休み期間や年末の夜間見回り、火の用心・防火キャンペーンを行う。 制服、笛、ライトなど装備品の整備、緊急時や災害時のグッズの備蓄、整備を行う。防犯カメラの補修・修繕を行い、初期の性能を維持していく。</p> <p>⑥ 広報の内容と方法 ホームページ、広報紙での宣伝を行う。</p> <p>⑦ 他団体（地活協以外の団体）との連携 鶴見区役所、鶴見警察署、鶴見消防署</p>		
事業目的及び期待できる効果	<p>地域の安全・安心を自らの責任と力で築いていく 地域行事を参加者の安全を確保していくことで支え、自転車マナーや自動車の安全通行を啓発する。</p> <p>青少年の健全育成、非行防止を関係団体と協力して取り組み時季毎に必要な取り組みを行うと共に、日常的にまちの巡回を行う。</p> <p>防犯灯と防犯カメラの設置によって、犯罪の抑止や自転車マナー、自動車の安全通行を啓発する。</p> <p>また有事の際には積極的に情報を提供し、地域の安心安全に役立てる。</p>		
事業効果の検証方法	<p>交通事故及び犯罪発生件数、場所の分析を関係機関と連携し行っていく。参加者への聞き取りや、経験や生活の知恵を積み重ねていく。</p>		

事業計画書

30年度

NPO 法人榎本地域活動協議会

補助事業名	榎本児童見守り活動	分野	防災・防犯
事業概要	<p>① 実施日時又は期間 年間を通して実施 榎本小学校児童の登下校時</p> <p>② 実施場所又は地域 榎本小学校児童の登下校道路、校区内の通行量の多い交差点</p> <p>③ 対象者、参加予定人数、スタッフ人数 対象 榎本小学校児童 約 800 人 スタッフ人数：100 人</p> <p>④ 従事予定時間 100 人×1 日×12 ヶ月×2 時間</p> <p>⑤ 実施内容・方法 登下校道路の要所に見守り活動中と分かるユニフォームでたち、子どもたちへの声掛けを行い、通行人、通行ドライバーに安全を呼びかける。</p> <p>⑥ 広報の内容と方法 楽生会（老人会）、PTA を中心に取り組みの案内を行い、協力者を募る。見守り活動自体が目立つ展開を行っているので広報を兼ねることができる。</p> <p>⑦ 他団体（地活協以外の団体）との連携 榎本小学校、鶴見警察署、鶴見区役所</p>		
事業目的及び期待できる効果	<p>児童生徒の安全を地域の力で見守り、被害発生を未然に防ぐ。 顔見知りのお年寄りが街角に立つことで子どもたちとのコミュニケーションが日常のものとなる。 自然な声掛けや挨拶が交わせるまちを作っていく。 子どもたちの安全を地域住民自身が担っていることをアピールすることで地域の安心を高め、犯罪のないまちを実現していく。</p>		
事業効果の検証方法	<p>犯罪事故発生件数の分析、参加者に対する聞き取りを行う。子どもたちの受け止めを小学校から聞かせていただく。</p>		

事業計画書

30年度

NPO 法人榎本地域活動協議会

補助事業名	児童公園管理	分野	環境
事業概要	<p>① 実施日時又は期間 年間を通した公園整備</p> <p>② 実施場所又は地域 榎本地域の児童公園（榎本北公園、阿遅速雄神社横児童公園）</p> <p>③ 対象者、参加予定人数、スタッフ人数 対象者：榎本地域住民 スタッフ人数：50人</p> <p>④ 従事予定時間 2人×2日×12ヶ月×2時間×2カ所、30人×1日×2時間×2カ所</p> <p>⑤ 実施内容・方法 遊具の塗装や修理の実施。 定期的に清掃、草刈り、危険箇所の点検整備を行う。</p> <p>⑥ 広報の内容と方法 参加者を回覧板などで呼びかける。</p> <p>⑦ 他団体（地活協以外の団体）との連携 阿遅速雄神社 榎本小学校</p>		
事業目的及び期待できる効果	<p>児童公園を整備、管理して子どもたちの安全な遊び場として提供する。 地域内の児童公園を自らの手で整備、清掃することで、愛着を持ち、マナーの向上と子どもたちの見守りを日常化する。屋外で遊ぶ機会を子どもたちに提供する。まちの景観環境を豊かにする。</p>		
事業効果の検証方法	<p>児童公園維持管理の取り組みへの参加者の意見を集約する。</p>		

事業計画書

30 年度

NPO 法人榎本地域活動協議会

補助事業名	街路灯 LED 化	分野	防災・防犯／環境
事業概要	<p>① 実施日時又は期間 年間通じ全期間</p> <p>② 実施場所又は地域 榎本地域の街路灯</p> <p>③ 対象者、参加予定人数、スタッフ人数 対象者：榎本地域住民 スタッフ人数：30 人</p> <p>④ 従事予定時間 30 人×5 回×2 時間（会議）</p> <p>⑤ 実施内容・方法 地域内の街路灯の LED 化を 5 カ年計画で進める。 1 年間に約 40 基取り替えを実施する。</p> <p>⑥ 広報の内容と方法 各町会回覧等によって周知する。</p> <p>⑦ 他団体（地活協以外の団体）との連携 鶴見区役所</p>		
事業目的及び期待できる効果	<p>地域内の街路灯の老朽化も進む中、LED 化を進めることで、地域内の整備が必要な街灯の把握ができる。</p> <p>より寿命が長く電気代の節約にもなる LED を使用することで、各町会の負担を軽減することが出来、夜道の地域住民の安全を確保することが出来る。</p> <p>保守点検・整備費の削減。消えたままの街灯の把握・整備</p>		
事業効果の検証方法	<p>実施した町会の町会長に聞き取り調査を行う。部会での意見交換も行う。</p>		

事業計画書

30 年度

NPO 法人榎本地域活動協議会

補助事業名	広報(榎本ふれあい通信・ホームページ)	分野	広報
事業概要	<p>① 実施日時又は期間 30 年 4 月～31 年 3 月</p> <p>② 実施場所又は地域 榎本全地域</p> <p>③ 対象者、参加予定人数、スタッフ人数 対象 榎本小学校下全戸配布、地域内事業所、学校等へも配布 印刷部数 9000 部 スタッフ人数：10 人</p> <p>④ 従事予定時間 10 名×16 回(年間)×2 時間(会議) 10 名×約 20 回(年間)×6 時間(行事)</p> <p>⑤ 実施内容・方法 広報委員会を中心に各地活協関係団体に窓口を置き、情報提供を双方向で行い、榎本小学校下の情報を中心に情報提供を行う。 町会の回覧板配布ルートに榎本ふれあい通信をのせ、全戸配布する。年間 定期号 4 号 号外 1 号 ホームページを開き、ブログ、フェイスブック、ツイッター、LINE@を組み合わせて活用した ICT 情報をインターネット上に配信する。身近な出来事を取り上げ、お知らせと啓発を丁寧に行う。イベントポスター・チラシ作成。</p> <p>⑥ 広報の内容と方法 ふれあい通信の全戸配布とインターネット活用</p> <p>⑦ 他団体(地活協以外の団体)との連携 榎本小学校</p>		
事業目的及び期待できる効果	<p>地域活動の動脈として情報の双方向性を実現する。情報の流し方が中央管理的な一方的なものではなく、地活協各団体の窓口を通じた発信を受け止め、みんなで作る広報、ホームページを目指す。</p> <p>榎本地域活動協議会の認知度を高め、支援の幅を広げると共に地域内の資源の掘り起こしを目指す。地域の情報を交流し、相互の情報を共有できる。新たな参加者や担い手を結べる。</p>		
事業効果の検証方法	<p>ホームページ閲覧回数カウンターやフェイスブックの閲覧、話題にした人、いいねのカウンター数による</p>		

30年度

収支予算書 (全体)

団体名：NPO法人榎本地域活動協議会

収入

(単位：円)

項目	予算額	備考
大阪市補助金	4,133,698	活動費・運営費含む
はなてん音楽サロン	200,000	チップ収入(音楽サロン6回分)実績より
ふれあいまつり売上	260,000	バザー120,000円カレー140,000円(560人分)
運動会飲料売上	35,000	ビール250円×100本 ジュース100円×100本
区民まつり売上	200,000	おでん・枝豆・飲料・かき氷・ジュース(実績より)
地域福祉活動売上	532,000	ふれあい喫茶売上100円×1,200人、高齢者食事サービス300円×880人、おたすけ愛1シート4,000円×37人
コミュニティ回収	2,200,000	一年分
映画上映会	200,000	今津まちづくり文化振興基金
地域福祉活動助成金	490,000	必須活動180,000円 任意活動310,000円
委託料	305,000	生涯学習ルーム45000円、学校体育施設開放事業260,000円(2校分)
児童いきいき放課後事業	74,664,373	5校分委託料
小規模多機能型居宅介護事業	25,000,000	介護収入
その他	6,439,612	
前年度繰越金(補助金除く)	25,300,000	
合計	139,959,683	

支出

(単位：円)

事業名	みなし	事業全体予算額	うち補助金額
乳幼児子育て支援まつり(スモチル)		54,000	27,000
はなてん音楽サロン		496,520	248,260
えのもと寺子屋		41,800	20,900
ふれあいまつり		365,120	129,060
榎本盆踊り大会・納涼縁日		957,600	451,300
区民まつり		346,200	134,350
榎本大運動会		1,078,860	168,930

ふれあい餅つき大会		101,700	50,850
はぐくみ地域子ども育成事業		266,400	128,200
まちなか防災・避難所開設訓練	○	623,990	467,992
青色防犯パトロール	○	233,090	174,817
安心安全防犯活動	○	389,600	292,200
榎本児童見守り活動	○	100,200	75,150
児童公園管理	○	249,070	183,750
街路灯 LED化	○	691,200	518,400
広報（榎本ふれあい通信・ホームページ）		471,600	235,800
放置自転車対策委員会		0	0
かたづけ・たい		0	0
児童いきいき放課後事業		74,664,373	0
生涯学習ルーム事業		45,000	0
学校体育施設開放事業		260,000	0
映面上映会		200,000	0
コミュニティ回収事業		700,000	0
小規模多機能型居宅介護事業		25,000,000	0
地域福祉活動費		972,000	
活 動 経 費		108,308,323	3,306,959
運 営 経 費		6,351,360	826,739
次 年 度 繰 越 金		25,300,000	
合 計		139,959,683	4,133,698

※地域活動協議会が行う事業すべて記載してください

※みなし人件費を含む事業には、みなし欄に「○」を記載してください

30年度

補助事業支出予算書 (運営費補助金)

団体名：NPO法人榎本地域活動協議会

支出

(単位：円)

項 目	補助対象 予算額	うち補助金	内 訳
人件費	4,581,360	0	地活協事務局人件費@909円×8時間×20日×12ヶ月×2人、 @909円×8時間×10日×12ヶ月×1人@909円×5時間×4日× 12ヶ月×1人
光熱水費	1,270,000	826,739	榎本福祉会館 管理費 電気@1,130,000円 ガス@30,000 円 水道@110,000円
役員費	500,000	0	雇用保険・労災保険等@340,000円 通信費 (NTT西日本) @ 160,000円
合 計	6,351,360	826,739	